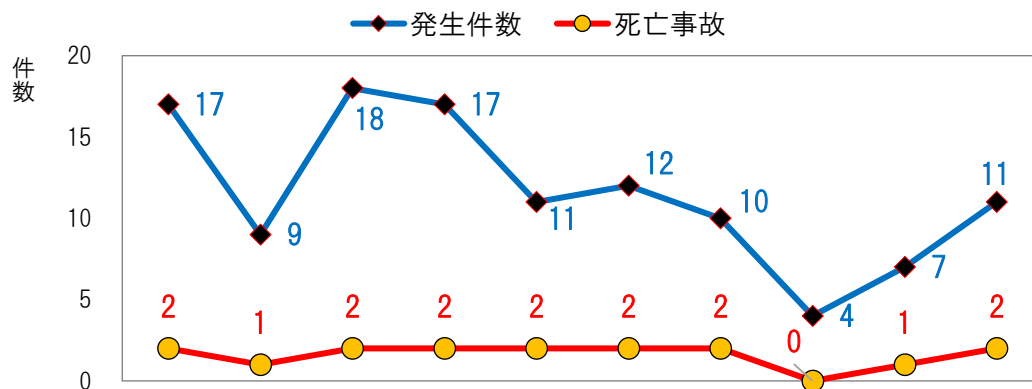


飲酒事故の分析結果結果等

1 原付以上運転者（第1当事者）の過去10年間の飲酒人身事故発生状況（H27～R6）

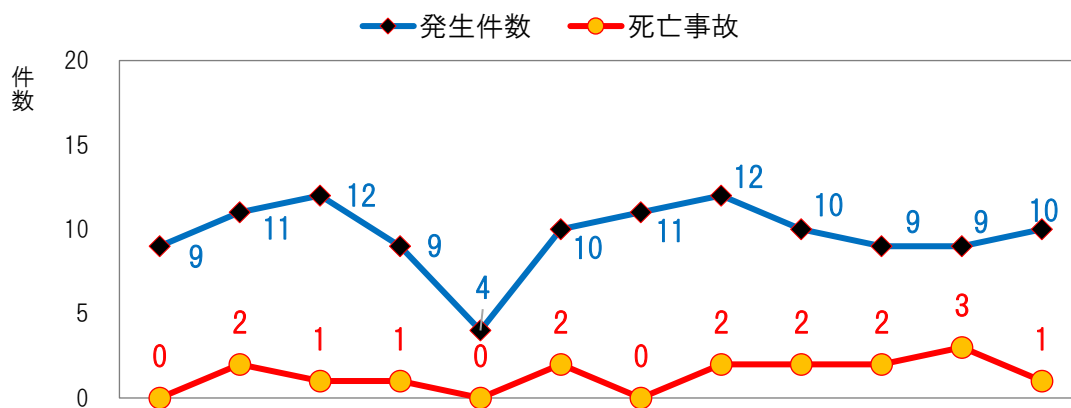
(1) 発生件数の推移



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
発生件数	17	9	18	17	11	12	10	4	7	11	116
うち死亡事故	2	1	2	2	2	2	2		1	2	16
死者数	2	1	2	3	2	2	2		1	4	19
負傷者数	17	9	25	24	14	10	10	4	9	11	133

- 県内の飲酒人身事故は、過去10年間で116件発生し、同事故により、19人が死亡し、133人が負傷している。
- 過去10年間で発生件数が最も多い平成29年以降は、概ね減少傾向で推移していたが、令和5年以降は2年連続して増加するなど、依然として飲酒運転による交通事故は発生している。

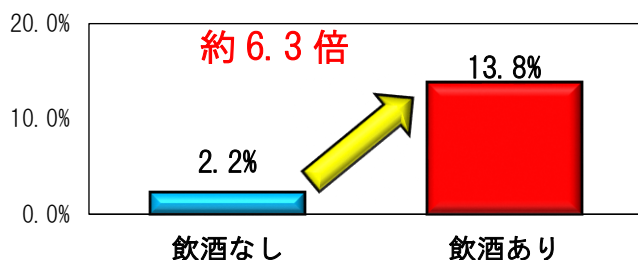
(2) 月別発生件数（H27～R6）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	9	11	12	9	4	10	11	12	10	9	9	10	116
うち死亡事故		2	1	1		2		2	2	2	3	1	16
死者数		2	1	1		2		4	2	3	3	1	19
負傷者数	11	9	17	9	6	9	12	19	12	8	9	12	133

- 月別で見ると、3月と8月が12件で最も多く、5月は4件で最も少ない。
- 死亡事故は、11月（3件）が最も多い。
- 死亡事故は上半期（1～6月）に6件（37.5%）、下半期（7～12月）に10件（62.5%）と、年末にかけて多発する傾向にある。

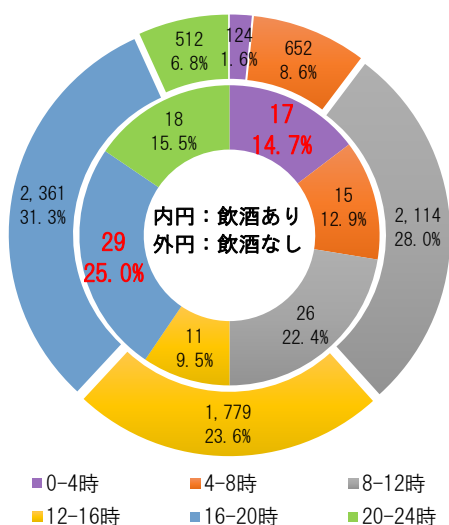
(3) 死亡事故率（H27～R6）



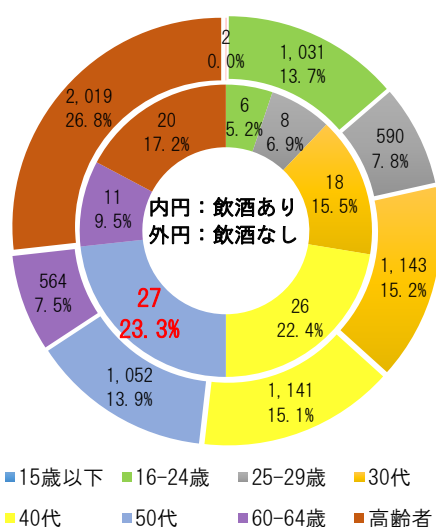
飲酒事故の死亡事故率＝（死亡事故件数÷事故件数）

- 「飲酒あり」は約13.8%（116件中死亡事故16件）、「飲酒なし」は約2.2%（7,542件中死亡事故169件）と「飲酒あり」が「飲酒なし」の約6.3倍であった。

(4) 時間別発生件数

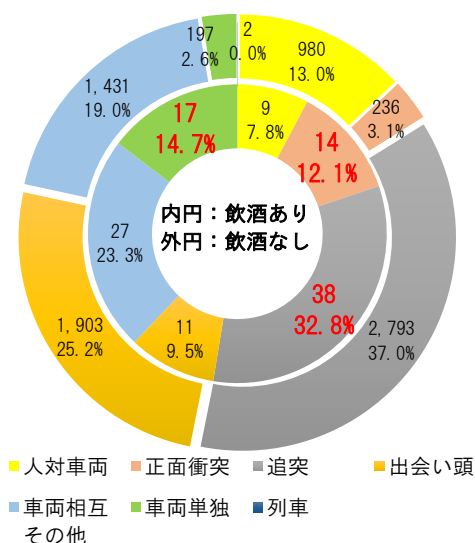


(5) 運転者の年齢別発生件数

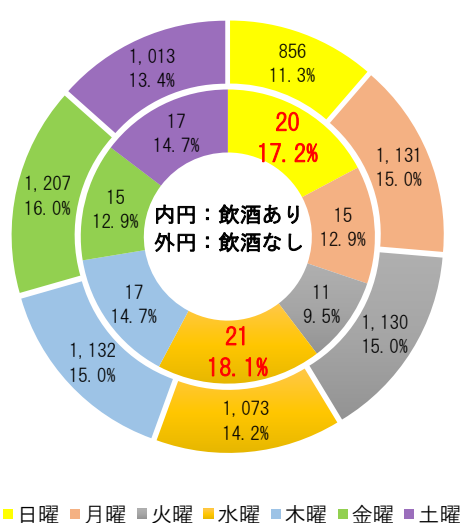


- 時間別では、16～20時が全体の25.0%と最も割合が高い。
- 0～4時は14.7%で「飲酒なし」の約9.2倍
- 運転者の年齢層別では、50代が23.3%と最も割合が高く、「飲酒なし」の50代の約1.7倍

(6) 事故類型別発生件数



(7) 曜日別発生件数



- 事故類型別では、追突が32.8%と最も割合が高い。
- 車両単独は「飲酒なし」の約5.7倍、正面衝突は「飲酒なし」の約3.9倍
- 曜日別では、水曜日が18.1%と最も割合が高く、日曜日は「飲酒なし」の約1.5倍

※ 資料は、原付以上運転者（第1当事者）のデータを元に作成。

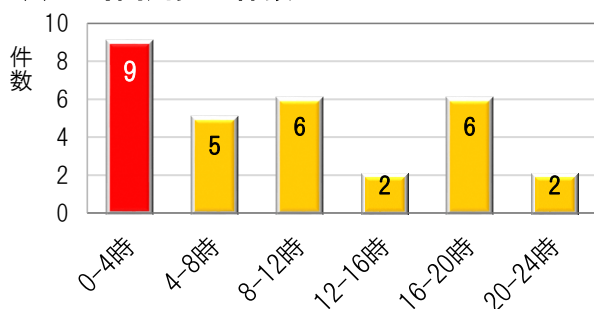
2 令和7年6月末現在の飲酒事故の発生状況（人身事故と物損事故の合計（速報値））

(1) 月別発生件数（発生件数30件（+1件）、うち人身事故6件）

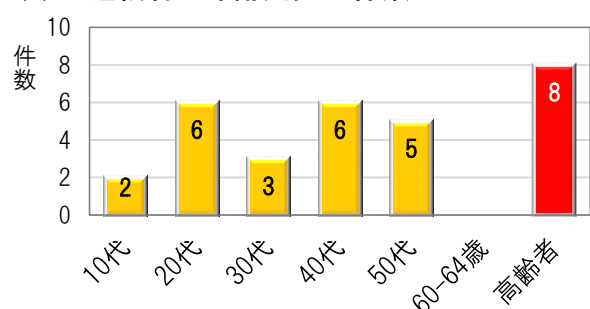


- 本年6月末現在、飲酒事故は30件発生、前年同期（29件）から1件増加
- 1月に8件発生した後、減少傾向で推移していたが、6月に6件と増加に転じた。

(2) 時間別発生件数



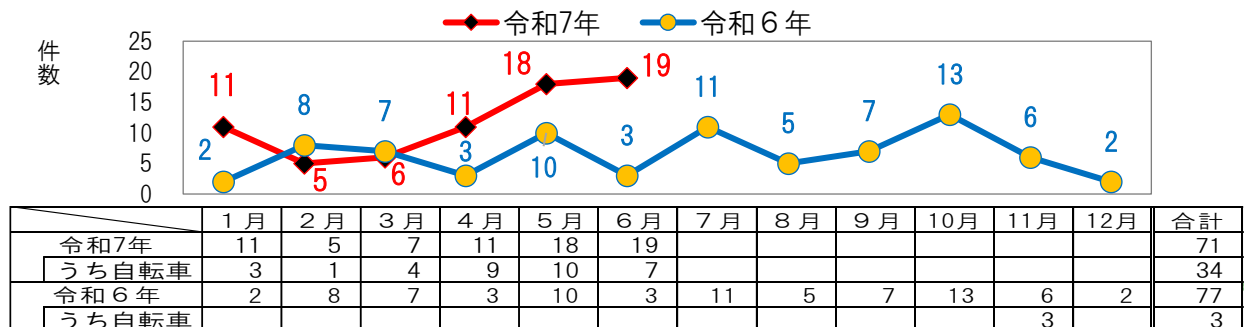
(3) 運転者の年齢別発生件数



- 時間別では、0～4時までの間が9件（30.0%）と最も多い。
- 運転者の年齢別では、65歳以上の高齢者が8件（26.7%）と最も多い。

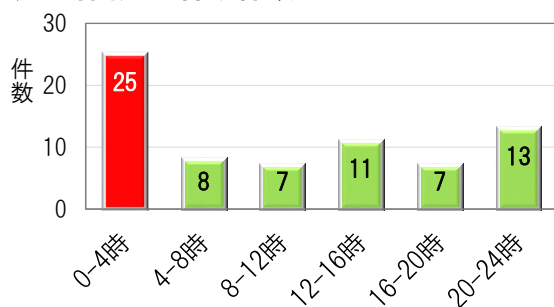
3 令和7年6月末現在の飲酒運転取締り件数（速報値）

(1) 月別取締り件数（取締り件数71件（+38件）、うち自転車34件）

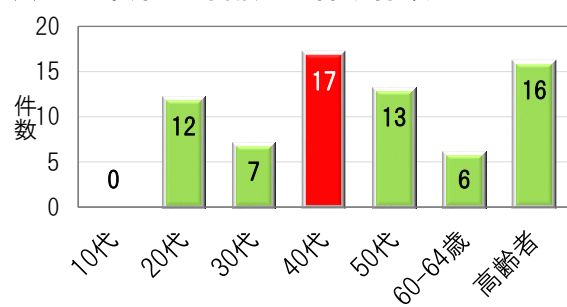


- 本年6月末現在、飲酒運転取締り件数は71件、前年同期（33件）から38件増加
- 自転車の酒気帯び運転が令和6年11月から罰則適用となって以降、取締り件数は37件

(2) 時間別取締り件数



(3) 運転者の年齢別取締り件数



- 時間別では、0～4時までの間が25件（35.2%）と最も多い。
- 運転者の年齢別では、40代が17件（23.9%）と最も多い。